

令和8年第3回 総務文教委員会会議録

令和8年6月4日

第2委員会室

開 会：午前10時00分

委員長 林 貴光

副委員長 渡辺 武彦

2番委員 各務 美穂、3番委員 平林多津子、4番委員 柘植 孝彦、5番委員 町野 道明

委員長 ; おはようございます。

定刻となりますので、ただいまから令和8年第3回総務文教委員会を開会いたします。

本日の会議は、去る5月26日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行います。よろしくお願いいたします。

初めに伊藤副議長、御挨拶をお願いいたします。

副議長 ; 改めまして、おはようございます。

台風6号が心配されたんですけど、この地域、特に倒木等ありましたけど大きな被害なく無事に去っていったと、ほっと胸をなでおろしたところでございます。

先週の30日、ラリーが恵那市で開催されまして無事に終わりました。私は地元のスタッフとして、朝5時からずっと本部におりました。さすがにですね、5年目となるとスタッフの皆さん準備から片づけ、それから観客の対応と実にスムーズで、意気を感じてやっておっていただきました。本当にありがたいなと思っております。非常によかったなと思う。そんな中で1つ印象残ったことがあります。東京からみえたお客さんが本部にみえて、ちょっとやりとりをしたんですね。そしたらその方が、こんなこと言われたんですね。この自然豊かな緑の中でラリーカーが走るってすごいことだよということを言われたんですね。これをもっと宣伝したほうがいいと。こんなところで世界のラリーがすごいと。東京では大体カブトムシはデパートに行かなきゃないんだけど、恐らくこのあたりはその辺いけばあるだろうと。もっとそういったことも宣伝したほうがいいんじゃないのってことを言われたですね。その話を聞きながら、昨年までは秋だったので、ひょっとすると落ち葉はあったけれども、自然というのを十分に感じられなかったのかもしれないなということを思いました。今回、まさに緑豊かな自然の中をラリーカーが走るっていうその光景を見て、自然と一体になったラリーというのは、ひょっとしたら、特に都会からみえた方々は実感されたんではないかなとそんなことを思いました。とするならば、今回5月にこのラリーを開催したことの1つの意義として、そんなところもあるんじゃないかなということを改めて東京からみえた方のお話を聞きながら思いました。来年また5月ということですから、またいい大会になればいいかなと、そんなことを思って30日を過ごさせて

いただきました。

第3回の総務文教委員会ということですが、5件ほどの案件があります。慎重、審議よろしくをお願いします。私のほうからは以上です。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは、執行部から御挨拶をお願いいたします。

総務部長をお願いします。

総務部長 ; 総務部長の樋田でございます。よろしくお願いします。総務文教委員会に属する市執行部を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。

ただいま副議長さんのお話にもありましたが、まずは心配されました昨日の台風でございますけれども、市内におきましては倒木被害4件、報告がございました。幸いにして人的、物的の被害はなく、皆さんとともに安堵しているところでございます。今後は梅雨入りという出水期を迎えますので、引き続き備えをしっかりとまいりたいと思っております。

それでは、去る5月26日に令和8年第2回恵那市議会定例会で上程されました議案のうち、総務文教委員会に付託されました議案として、条例の一部改正が2件、その他の議案2件、予算として一般会計補正予算1件の合計5議案の審査をいただきます。

審査の中でいただきます御質問につきましては、できる限り丁寧に分かりやすく、答弁をさせていただきますので、委員の皆様どうぞよろしくお願いをいたします。以上でございます。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

発言及び反問につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、着座にて、マイクに向かって簡潔に質疑・答弁をされますようお願いいたします。

委員長 ; 初めに、「議第46号 恵那市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第46号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第46号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第４７号 恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第４７号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第４７号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第４９号 財産の取得について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第４９号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第４９号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第５０号 財産の取得について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第５０号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第５０号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第５２号 令和８年度恵那市一般会計補正予算（第１号）（歳入歳出所

管部分)」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

3番委員。

3番委員 ; お願いします。

2款1項20目のモータースポーツ推進経費950万円についてお尋ねしたいと思っています。質問が3つあるのですが分けたほうがいいか。

委員長 ; じゃあ、1問ずつで。はい。

3番委員 ; では最初に、財源のことについてお聞きしたいと思います。

事業費が950万円のことで、財源についてお聞きします。財源は市民のまちづくり基金繰入金とのことですが、これは全額企業版ふるさと納税、ラリージャパンを契機としたモータースポーツと車文化にやさしいまちづくり事業でしょうか。それともほかのメニューも入っているのかお尋ねいたします。よろしくお願ひいたします。

委員長 ; ラリーまちづくり課長。

ラリーまちづくり課長 ; ラリージャパン2025の大会の黒字分、これを市民のまちづくり基金に積み立てたものになっております。

以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 引き続き今のモータースポーツについてお聞きします。手形の中身ですけども、手形製作要望というのは地域からあったのでしょうか。よろしくお願ひします。

委員長 ; ラリーまちづくり課長。

ラリーまちづくり課長 ; 岩村の観光協会のほうから、初めに話がございました。以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; もう1つお願いします。
今年、映像記録とか手形製作は、もうこの30日に行われたということでしょうか。お願ひします。

委員長 ; ラリーまちづくり課長。

ラリーまちづくり課長 ; 既存の予算で対応できる部分については行っております。例えば、手形の採取だったり、映像撮影等々でございます。それ以外の部分については、これから補正で出させていただいた予算で、製作していくという形になっております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

2番委員。

2番委員 ; よろしくお願ひします。16ページ、2款1項7目、自動運転実証実験事業、すいません。予算書の16ページ。よろしいですか。

委員長 ; いいですよ。

2番委員 ; はい。大丈夫。すいません。実証実験事業費、3点質問があります。1件ずつでよろしいでしょうか。

委員長 ; はい。

2番委員 ; 1つ。修繕費とあるが、道に使うのか、車両に使うのか。お聞きしたいと思っています。お願ひします。

委員長 ; 企画課長。

企画課長 ; はい。よろしくお願いします。
修繕費につきましては車両の修繕に使う予定でございます。
以上です。

委員長 ; 2 番委員。
2 番委員 ; 引き続きお願いします。自動車購入はどこの会社から、どのレベルに対応したものを購入するのか。お聞きしたいです。

委員長 ; 企画課長。
企画課長 ; 現段階では、購入する会社については決められておりません。今後入札等手続きを経て決定していきます。またレベルにつきましてはレベル 4 に対応できる車両ということで、予定をしております。
以上です。

委員長 ; 2 番委員。
2 番委員 ; あと最後に、購入することに至った経緯と、リースが良いのか、購入の方がいいのか比較をしたのかどうか、よろしくお願いします。

委員長 ; 企画課長。
企画課長 ; はい。今回、車両購入に至った件につきましては、国の補助要領が変更され、昨年度はリースで実証実験を行いました。今年度は車両購入を前提とした実証実験が必須となったため、車両購入での対応となります。また、リースの場合は補助対象外となりますので、実証実験全額が市の負担となるというところで、今回購入という判断をしております。
以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。
3 番委員。
3 番委員 ; はい。同じく予算資料 16 ページの 2 款 1 項 7 目、自動運転実証実験事業費についてお聞きします。
令和 6 年度は恵那市内で実験を行いました。また令和 7 年度は岩村町で行われて、途中で車がとまってしまっていて渋滞したってこともあったようですが、実証実験の成果と課題はどのようなもののでしょうか、よろしくお願いします。

委員長 ; 企画課長。
企画課長 ; はい。お願いいたします。
令和 7 年度の実証実験の成果ですけれども、実験としましては 10 月 24 日から 11 月 9 日の間の 15 日間、場所としては岩村町の岩村駅から岩村歴史資料館前間で実証実験を行っております。成果としましては、710 人の乗車がございまして、乗車率 68% ということでございました。その中で自動運転を行った率としまして 83.7%、手動介入は 394 回ということでございました。行ったときに取ったアンケートでは再度利用したいという意見が 86% という回答でございました。課題といたしましては観光地でございます。主に路上駐車による手動介入が多かったということで、その辺りが課題だと思っております。
以上です。

委員長 ; ほかにございませんか。
3 番委員。
3 番委員 ; はい。すいません。

令和7年の実証実験については東濃5市と下呂市でコンソーシアムを作って行ったかと思います。それはどうなったのかと、コンソーシアムにしたらどうなったのかということと、そこの関連かと思ってお聞きしますけども、諸団体負担金の1,378万4,000円の減額理由は何でしょうか。お願いします。

委員長 ; 企画課長。

企画課長 ; はい。昨年度設立いたしましたコンソーシアムにつきましては、本年度も継続して活動していく予定でございます。コンソーシアムでは、自動運転の啓発などの活動をし、6市共同で行っていくというようなことをこれから計画していく予定でございます。負担金の減額につきましては、今年度、国の要領が改正されたため、各市で実証実験を行う経費について計上する必要が出てきたので、予算の組替えによる減額となっております。

以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; 引き続きお願いします。購入して岩村町で90日間、実証実験をすると考えていることを聞きましたけど、その後の活用はどのように考えてみるのかお聞きします。よろしくをお願いします。

委員長 ; 企画課長。

企画課長 ; はい。今後の活用ということですが、今後につきましても、来年度も引き続き実証実験を行って社会実装ができるように、引き続き進めていく計画でございます。

以上です。

委員長 ; 5番委員。

5番委員 ; 事業も国の方からしっかりとしていただけるわけですから、大変いいことだと思いますし、来年もやるということで、レベルが現在2の状態が3、4というふうになっていくわけですが、最終的には海外みたいに5とかもあったりしますけど、4とか3とかどういうふうに進歩していくかお尋ねいたします。

委員長 ; 企画課長。

企画課長 ; はい。現在の計画でございますけれども、今年度レベル4に向けた実証実験を行います。その結果をもって国等にレベル4での運転の認可をとっていくということで、実装を目指していくという予定であります。

以上です。

委員長 ; 5番委員。

5番委員 ; ラリーの話ですが、私も地元でお手伝いをしていましたが、埼玉県から来た人がいるということで、大変すごい反響でした。で、来年も5月に行うということで、大変よろしいかと思っておりますけども、5月と11月で多少関係人口とか交流人口とか、そういったことに大きな違いがあったのかどうかちょっとお尋ねしたいと思います。

委員長 ; ラリーまちづくり課長。

ラリーまちづくり課長 ; 今回の大会のまとめについては、今、数字等を集めているところですので、また詳細がまとまれば報告させていただくというところでございます。ただ日照時間が長くなったりとか、陽気がよくなったということで、人数が多くなって良かった

たよってという話は上がってきているというところですよ。以上です。

委員長 ; ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; お願いします。

補正予算の総務文教委員会の所管部分のうちの、先ほどの 2 款 1 項 7 目の自動運転実証実験事業費についての使われ方について、賛同できず反対したいと思います。理由については、以下のとおりです。

東濃 5 市と下呂市により昨年できたコンソーシアムです。補助事業の公募要綱が変わったからとのことですが、他市に比べて山間地域の多い恵那市が車両購入してまで、なぜ実証実験を行うかの意義が私は感じられません。先ほども申しましたが、山間地域が多い恵那市民の地域の安全安心な暮らしを思うとき、なぜ自動運転実証実験を先行させるのか疑問に思います。いくつかの地域から、土砂災害の危険があるところや、狭く曲がりくねった道路の改善を地域要望で出しているが、納得できる返答がいただけない、改善してもらえないとの声を聞いています。今度の実証実験は将来の交通空白地域で運行するためとも言われていますが、今大切なことは、今暮らしている市民の地域住民の安心安全な暮らしであって、いくら国からの補助金が 5 分の 4 といえども、今行うことではないと考えます。

以上の理由から、補正予算について反対したいと思います。よろしくお願いいたします。

委員長 ; ほかに討論ございませんか。

5 番委員。

5 番委員 ; 私は賛成ですけれども、市民の足として大変重要な事業であります。ましてや交通の確保も、市民の交通確保を目指せると、ましてやレベル 4 でいくということです。進めていただければいいかと思います。そういうことで賛成します。

委員長 ; ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ほかにありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 5 2 号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

2 番委員、どちらですか。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 挙手多数であります。よって「議第 5 2 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題をすべて終了しました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和 8 年第 3 回 総務文教委員会を閉会いたします。
お疲れ様でした。

午前 10 時 19 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 総務文教委員長 林 貴光